

# 女性へ酒の飲み方指南

酒は善きにつけあしきにつけ。女性が社会で活躍するようになると、お酒にまつわるシーンも多くなる。そんな時、スマートに振る舞うための秘けつは？ ストレス解消のお勧めは？ 男性と飲む時のコツは？ 福井市出身のワインコーディネーター、友田晶子さん(三〇)東京港区在住がこのほど、お酒のプロとしての自らの体験や知識など、お酒に関するさまざまなノウハウをつづったエッセイ集「女が酒を選ぶとき」を出版した。

福井市出身の友田さん(東京在住)出版

## 男性から逃げるコツも



友田晶子さん

友田さんは、イタリアレストランを経営する家に生まれた。小さな頃からワインなどに興味を持ち、ワインなどに興味を持ち、ワインをとり払い、より身近で楽しいものだということを知らず、意外と知らない酒の知識のあれこれを皮切りに、「ひとりでお酒を飲むに、「ひとりでお酒を飲みに、ひとりで飲むに、日本人の誇りともおなじくないマナーを身に付け、より自然に世界のステージへ出て行きましょう。」ともかく、ひと味違うお酒の指南書ともいって可なりだ。

「二難しい専門書やワインの銘柄を紹介したカタログのようにならないよう、ビールなども含め、お酒全般にジャンルを広げて読むことも。」この辺の逃げがうまい女性には、キッチリと仕事もできる大人の女」と友田さん。ワインやお酒はあくまでも端役。人や会話が主役でなければならぬが、それを引き立てる端役を上手に扱えるか否かで、楽しみは変わってくる。「ワ

## 失敗談も交えて

イン専門学校「アカデミー・デュ・ヴァン」を卒業後、渡仏。銘醸ワインの地、ボルドーで本格的に醸造を学んだ。現在は、日本ソムリエ協会会員で同校講師。セミナーやパーティーコーデイナー、雑誌への執筆、酒類などの輸入販売など幅広く活躍しており、日本酒のお酒の飲み方、贈り方、超

WAVE出版、二〇四頁、千五百円。

友田さんが書いた「女が酒を選ぶとき」

